

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	013541	事務事業名	保健衛生総務一般事務	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。 市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。 健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。 生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【実施なし】	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 職員	意図(どういう状態にしたい): 社会変化に応じた健康教育、保健指導等の市民への保健サービスの質の向上が図れる。	事業の内容 (手段)	保健事業に関する知識・技術の向上のための情報収集及び関係機関との連携強化の推進		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	専門書籍の購読、公衆衛生学会や各専門職の研究協議会への参加を通し、保健事業に関する知識・技術の向上、情報収集及び関係機関との連携強化を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	896	912	911	819
事業目標	目標名	事業経費額	計算式	各年度決算額	単位	千円	(予算額)	うち一財	千円	777	777	777	647	926
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	874	910		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	1,018.0	896.0	912.0	911.0	819.0	(決算額)	うち一財	千円	623	714		消費税増による(8⇒10%)	
	実績値	916.0	874.0	910.0			正職員人件費	千円	879	887				
	達成度(%)	90.0%	97.5%	99.8%			人工数	人	0.12	0.12	0.20			
							支出コスト	千円	決) 1,753	決見) 1,797				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	保健衛生総務一般事務 (経常的事務事業)	職員	社会変化に応じた健康教育、保健指導等の市民への保健サービスの質の向上を図る。	保健事業に関する知識・技術の向上のための情報収集及び関係機関との連携強化を推進する。	公衆衛生学会等への参加、各専門職の研究協議会への参加	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.12	0	910	否	否			
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 公衆衛生を取り巻く環境は急激に変化しつつあり、法改正等への対応を含めて、職員の一層の知識・技術の向上に努める必要がある。					B	改善案	職員の資質向上を図りながらも、経費の節減に努める。					
②														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	保健事業に関する社会環境は常に変化しつつ複雑になってきている。今後もより一層、知識・技術の向上と情報収集及び関係機関との連携強化が必要とされる。	前年度までの指摘事項	知識・技術の向上と情報収集及び関係機関との連携強化に努めるとともに業務改善を図りたい。	指摘事項に対する改善状況	両面印刷や裏紙使用するなど複写機使用料や消耗品費の抑制に努めている。
	細事業の課題・問題点	公衆衛生を取り巻く環境は複雑かつ急激に変化しつつあり、法改正等への対応を含めて、職員の一層の知識・技術の向上に努める必要がある。		事業全体の課題・問題点		公衆衛生を取り巻く環境は複雑かつ急激に変化しつつあり、法改正等への対応を含めて、職員の一層の知識・技術の向上に努める必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	常に変化する保健事業に関する知識・技術の向上と情報収集及び関係機関との連携強化をより一層推進するとともに、適正な事務の遂行に努める。	改善案	引き続き積極的に関係機関と連携を図るとともに事務改善にも努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり、引き続き積極的に関係機関と連携を図ること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き事務改善を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者(課長)	磯崎 恵理子	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	463008	事務事業名	予防接種事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	感染症対策の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、国・県と連携し、感染症に関する正しい知識の普及、感染症に関する情報の提供を行います。 感染症の予防について知識の普及啓発を行いません。			25年度市民評価の満足度	
					【実施なし】 %	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民(乳幼児・学童・生徒、65以上の高齢者)	意図(どういう状態にしたい): 予防接種により市民の感染症の発症を予防し、地域における流行を抑制できる。 (接種人数 H26目標:22,000人)	事業の内容(手段)	感染の恐れのある疾病の発生やまん延を予防するために、疾病に対する免疫を得るため定期予防接種対象者に予防接種を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【A類疾病】・4種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) 4,378人 ・3種混合(ジフテリア・百日咳・破傷風) 83人 ・2種混合(ジフテリア・破傷風) 1,063人 ・麻疹風しん混合 2,373人 ・ポリオ 509人 ・日本脳炎 5,884人 ・BCG 1,063人 ・HPV(子宮頸がん)40人 ・Hib感染症4,431人 ・小児肺炎球菌4,431人 ・水痘2,490人 【B類疾病】・高齢者肺炎球菌 5,381人 ・インフルエンザ(高齢者) 23,189人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	413,269	424,470	465,203	466,523		465,203							
事業目標	目標名	接種人数(定期接種A類)	計算式	接種人数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	411,265	422,478	463,218	464,488	463,218	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	361,333	408,027	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	17,000.0	17,000.0	22,000.0	22,000.0	22,000.0	(決算額)	うち一財	千円	359,385	406,093	B型肝炎ワクチンが定期接種として追加予定のため。			
	実績値	23,312.0	26,763.0	26,745.0			正職員人件費	千円	5,054	5,398					
	達成度(%)	137.1%	157.4%	121.6%			人工数	人	0.69	0.73	0.97				
							支出コスト	千円	決) 366,387	決見) 413,425					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	予防接種事業 (経常的事務事業)	周南市民	感染の恐れのある疾病の感染予防、発病及びまん延を防止する。	定期予防接種の対象者全てが予防接種を受けること。	予防接種法に基づいた定期の予防接種を行い、感染症の発生まん延を防いでいる。 接種率 90%~95%	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否		
	②	予防接種健康被害者医療費・医療手当交付金(医療手当)、予防接種健康被害者障害年金 (経常的事務事業)	周南市民	予防接種によって健康被害を受けた場合、市民に対して経済的救済を行う。	予防接種によって健康被害を受けた場合、市民に対して経済的救済を行う。	予防接種によって健康被害を受けた対象者に対して、医療手当や障害者年金の救済措置を実施する。新規対象者はないが、既存の対象者に交付を行っている。	0.04	0	1,934	否	否	否	否		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 コストの増加は法に基づく予防接種の増加によるためやむを得ないものがある。しかしながら、膨大なコストの増加に対応するための再検討が必要になってきている。					細事業評価								
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 副反応報告等の流れが法改正により変わってきていること等から、健康被害等が発生した場合の対応について、迅速に対応できるようにする必要がある。					細事業評価									
						A	改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	日本脳炎予防接種は平成17年5月より積極的勧奨を控えていたが、平成22年度の予防接種法の一部改正による対象の拡大により接種者数が増加している。麻疹・風しん予防接種は、平成20年度より時限措置として実施した3期、4期の接種が終了したため、接種者数が半減している。また、ポリオ及び3種混合ワクチンは、4種混合ワクチンへ移行中のためコストが下がっているが、平成25年度からHPV、Hib、小児の肺炎球菌が追加されたことや、平成26年度から水痘、高齢者の肺炎球菌感染症が追加されたこと、今後も定期接種化が検討されるワクチンがあり一層コストの増が見込まれる。	前年度までの指摘事項	常にコスト意識を持って実施すること。	指摘事項に対する改善状況	平成25年度から子宮頸がん等3ワクチンの定期接種化、平成26年度からの水痘及び高齢者の肺炎球菌等の定期接種化があり、国が交付税措置を行ってはいるが、今後もコスト削減に向けて他市との連携を図る。
	細事業の課題・問題点	コストの増加は法に基づく予防接種の増加によるためやむを得ないものがある。しかしながら、膨大なコストの増加に対応するための検討が必要になってきている。	事業全体の課題・問題点	法に基づき市が実施する事業であり、疾病予防のため接種率向上を目指す必要があるが、今後も定期接種化が見込まれるワクチンもあり、今後の公費負担については、国の動向や他市の状況を注視しながら検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	感染の恐れのある疾病の発生やまん延を予防するために、予防接種を継続して実施しなければならない。法に基づく義務である。ただし、常にコスト意識を持って実施する必要がある。	改善案	予防接種の単価設定については関係機関との協議を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり、常にコスト意識を持って実施すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
予防接種の単価設定について、関係機関と協議を継続する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	463011	事務事業名	感染症予防事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	感染症対策の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、国・県と連携し、感染症に関する正しい知識の普及、感染症に関する情報の提供を行います。 感染症の予防について知識の普及啓発を行いません。			25年度市民評価の満足度	
		【実施なし】 %				
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 免疫力の低下した高齢者の結核の早期発見、早期対応が可能となる。	事業の内容 (手段)	感染症の患者が発生した場合の消毒を実施 65歳以上の高齢者に対して集団検診により胸部レントゲン間接撮影を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	結核検診受診者数(65歳以上) 5,510人													
事業目標	目標名	結核検診受診者数	計算式	受診者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	622	653	652	742	791
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(予算額) うち一財	千円	582	611	610	700	789
	目標値	7,500.0	7,500.0	7,500.0	7,500.0	7,500.0		直接事業費	千円	254	551		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	実績値	4,805.0	4,701.0	5,510.0				(決算額) うち一財	千円	254	551			
	達成度(%)	64.1%	62.7%	73.5%				正職員人件費	千円	1,319	1,849			
								人工数	人	0.18	0.25	0.45		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	結核検診実施 (経常的事務事業)	65歳以上の周南市民	高齢者の結核の早期発見、早期対応のため、受診勧奨及び受診しやすい環境づくりを行う。	結核検診受診者数7500人	市内58医療機関、及び集団検診として 4会場で9回実施。 受診者数目標達成率:73.5%	正職員 0.25 臨時等 0	直接事業費 551	委託 可	臨時嘱託 否				
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価							
	受診者数目標達成度は、H25年度より増加しているが、更なる受診率向上に向けて周知していく必要がある。						B	改善案	受診率向上に向けた啓発活動					
	②													
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価								
							改善案							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	引き続き継続して事業実施する。積極的な啓発活動に努めること。	指摘事項に対する改善状況	引き続き、積極的な啓発活動を行う。
細事業の課題・問題点	<p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法に基づく事業。</p> <p>平成16年度までは、胸部X線検査の対象者は15歳以上であったが、検診有効発見率が低下したため、平成17年度より65歳以上の高齢者に変更された。法改正に伴い、平成21年度より結核対策事業と事業を統</p> <p>平成25年度は集団検診によるレントゲン検診の医師立会いが必要との報道があり、対応に苦慮した。そのためか集団検診の受診者が減少した。その後、レントゲン技師法等の改正により、医師立会いはなくても実施できる改正の方向付けが示された。引き続き受診率向上に向けた取組が必要である。</p>				受診率が伸び悩んでいるため、啓発活動に重点を置き実施が必要。
			事業全体の課題・問題点		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	肺疾患及び肺結核を早期に発見するために必要である。法律で定められた事業であり、継続する。	改善案	積極的な啓発活動を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
	所管評価のとおり、積極的な啓発活動に努めること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
新型インフルエンザ等感染症対策として、引き続き消毒薬等の備蓄に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	581005	事務事業名	健康推進事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	健康づくり活動の推進			【健康づくり活動の推進】	37.80%
	推進施策の展開	健康づくり計画「のびのびはつらついきいき周南21」の推進のため、健康づくり推進協議会を母体として計画的に健康課題に取り組みます。市民の健康づくりの推進と、生活習慣病の予防、食育推進のため、教室開催や食生活改善の活動を行います。			25年度市民評価の満足度	
					【健康づくり活動の推進】	44.70%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): それぞれの健康観に基づく一人ひとりの自主的、主体的な取組みを基本に健康づくりを市民協働で実践できる。	事業の内容 (手段)	周南市健康づくり推進協議会、健康づくり推進委員会、ぶち元気がいいね！フェスタの開催		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	健康づくり推進協議会2回 25人 健康づくり推進委員会1回 12人 ぶち元気がいいね！フェスタ 中止(台風により)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	【26年度】	直接事業費	千円	671	671	995		641	671						
事業目標	目標名	参加者数	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	671	671	995	641	671	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	572	444	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	(決算額)	うち一財	千円	572	444				
	実績値	2,496.0	4,229.0	0.0			正職員人件費	千円	5,567	6,434					
	達成度(%)	55.5%	94.0%	0.0%			人工数	人	0.76	0.87	0.56				
							支出コスト	千円	決) 6,139	決見) 6,878					
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	健康づくり推進事業及び会議の企画運営 (ソフト事業)	周南市民	健康観に基づく自主的、主体的な取組みを基本に個人の健康づくりを支援するため、周南市健康づくり推進協議会、健康づくり推進委員会を設置し、健康づくりを市民協働で実践する。	市民に広く、健康づくりについて、自主的、主体的な取組みができよう支援する。	健康づくり推進協議会2回 25人 健康づくり推進委員会1回 12人 ぶち元気がいいね！フェスタ 中止(台風により)	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.87	0	444	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 健康づくりの推進は必要であるが、イベントの目的、開催のあり方について検討する必要がある。					B	改善案	イベント開催については、健康づくり推進協議会と協議・検討したいと考える。						
②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	国が進める「健康日本21」を推進するために、「健康やまぐち21」、「周南市健康づくり計画」により、健康づくりを推進している。健康づくり事業については、市民の自主的な活動を重要視しており、地域社会全体で個人の健康づくりを支援する環境づくりを推進している。	前年度までの指摘事項	市民の健康づくりの推進は必要であるが、イベントのあり方について検討すること。	指摘事項に対する改善状況	「ぶち元気がいいね！フェスタ」は、現計画期間の平成27年度まで、継続する予定。関係団体で組織する実行委員会、健康づくりに関するPRを自発的に行える事業であり、限られた予算の中で今後さらに内容を充実させたい。
	細事業の課題・問題点	健康づくりの推進は必要であるが、イベントの目的、開催のあり方について検討する必要がある。		事業全体の課題・問題点		「ぶち元気がいいね！フェスタ」は、「周南市健康づくり計画」推進の事業として健康づくり推進委員会が主体となり実施している。現計画期間の平成27年度まで、継続する予定。関係団体で組織する実行委員会、健康づくりに関するPRを自発的に行える事業であり、限られた予算の中で今後さらに内容を充実させたい。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	健康づくりの推進は、必要であるが、指摘を受けている、イベントの在り方について検討・検証をしたい。	改善案	健康づくり計画における達成目標の達成部分については、計画を見直し、事業の再構築を図りたい。イベントの在り方については、健康づくり推進協議会と協議・検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管評価のとおり、協議会と検討しながら推進すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
新たな健康づくり計画に沿って健康づくりの推進に努める。

備考



平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者(課長)	磯崎 恵理子	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	581011	事務事業名	食育推進事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	食育の推進			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	周南市食育推進計画「しゅうなん 食の『わ』プラン」に基づき、市民、家庭をはじめ、教育・保育、農林漁業や事業所等の関係者とその団体及び国や県の関係機関等と連携協力を図りながら、食育を市民運動として推進します。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)		対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民が食をめぐる課題を解決し、生活習慣病の予防や健康寿命の延伸ができる。 (第2次周南市食育推進計画における食育推進目標「16の指標項目」の各目標値を達成)	事業の内容(手段)	第2次周南市食育推進計画「3つの食の力づくり」に基づき、市民、家庭をはじめ、教育・保育・農林漁業や事業所等の関係者と、その団体及び国や県の関係機関等と連携協力を図りながら、食育を市民運動として推進	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	第2次周南市食育推進計画に基づいて、平成26年度より事業を推進している。食育推進目標「16の指標項目」の中の、「食育」のしゅうなん出前トークの累計実施回数を、平成31年度までの6年間で目標値240回とし、食育推進を図る。								直接事業費	千円	7,905	4,500	5,387	5,792	5,400	
事業目標	目標名	食育出前トークの回数		計算式	出前トークの実施回数			(予算額) うち一財	千円	7,630	4,330	5,142	5,609	5,155		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	6,524	3,889		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0		(決算額) うち一財	千円	6,330	3,818					
	実績値	42.0	48.0	40.0				正職員人件費	千円	25,125	17,304					
	達成度(%)	210.0%	240.0%	100.0%				人工数	人	3.43	2.34	2.30				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	①	野菜メニューコンクール	小中学校の学童・生徒及びその関係者 周南市民		小・中学生が野菜メニューを考え、調理することを通して、地産の野菜や旬を知り、考えて食べる子どもを増やす。また、取組を広く啓発することにより、野菜へ興味関心を持ち、家庭で料理に携わる子供を増やす。		野菜摂取への関心を高めるために、家族と一緒に家庭で調理し、食を考える機会を増やす。 市内全小中校の参加。		内容:野菜メニューの募集と優秀作品、優良作品の表彰。レシピ集を作成し配布。 応募数:38校 1,709人(内訳 小学校24校 334人、中学校14校 1,375人)の参加者があった。 優秀作品が学校給食で提供されたり、協賛事業者の店頭で試食が行われたりと地域への広がりが見られた		0.35	0.07	182	否	可	
		(ソフト事業)														
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						小中学生が野菜に興味関心を持ち、家庭で料理に携わる機会や共食が増えるように、地域へ広がりを持った取組となるようにコンクールの活用方法の検討が必要である。									
							B		改善案		テーマや実施方法を検討し、家庭での共食に結び付くような内容として実施。学校にも協力を得、実施後の応募作品の活用方法を検討し、地域へ広がりのある事業としたい。					

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
②	食育推進市民会議の企画運営	(経常的事務事業)	周南市民、関係団体	食育基本法第33条に基づき、本市の第2次食育推進計画の作成及び食育に関する推進を図る。	食育の必要性や重要性を理解し、食育推進目標を意識した取組が、それぞれの立場で実践でき、食育に取り組む地域づくりにつながる。	2回実施 内容:①第2次食育推進計画について ②食育推進についての活動や提案事項について 効果:①食育推進計画の周知 ②関係機関や関係団体と連携して食育を推進	0.13	0	131	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 食育に関連する組織や団体等から構成しており、それぞれの立場で食育推進活動を行っているが、地域づくりにつながる仕組みが必要である。					細事業評価					
	B	改善案	第2次周南市食育推進計画に基づき、市民運動として取り組む実践的な事業・連携体制について確立を図る。								
③	食育推進連絡会議・幹事会・ワーキンググループの企画運営	(経常的事務事業)	周南市民、関係団体	食育推進計画の作成・評価・見直しに関することを協議し、食育に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。	食育の必要性や重要性を理解し、食育推進目標を意識し、各課の立場で連携し、食育に関する取り組みを実践できる。	幹事会1回開催 内容:①第2次周南市食育推進計画について ②食育推進活動について 効果:①第2次食育推進計画について共有 ②食育推進関係課との連携	0.13	0	26	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 食育基本法に基づき、周南市食育推進連絡会議設置要綱を制定し開催している。食育を推進するために、連携は必要であるが、市の関係課のみの会議である。					細事業評価					
	D	改善案	食育関連課が情報の共有化を図り連携して食育を推進していく必要があるが、市関係課の会議であるため事業としては廃止。必要時に会議を開催。会議の時間短縮を考慮することも含めて、文書やメール等の活用を図る。								
④	食生活改善推進協議会	(経常的事務事業)	食生活改善推進員、周南市民	周南市食生活改善推進協議会に業務を委託し、市が実施する健康づくり事業、食育推進事業への協力を得て、健康で活力のある地域づくりを推進する。	①協議会の会員数を維持する。②地域活動に取り組めるように研修会などに積極的に参加することにより知識を習得し、資質の向上を図る。③個別活動、講習会等を実施し、普及啓発ができる。	①食生活改善推進員:H26年度202人 ②全体研修、地区研修等例年通り実施 ③企業等との取組も実施し、活度の場を広げている	0.38	0	3,013	可	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市と協働で健康増進法・食育基本法に基づいた、健康づくり計画・食育推進計画の中で地域活動を展開しているが健康づくりをさらに地域で充実させていく必要がある。					細事業評価					
	B	改善案	全地区に食生活改善推進員を配置し、地域差をなくす。食生活改善推進員と連携を密にしながら食育を推進する。								
⑤	子どもの食と元気づくり事業	(ソフト事業)	小中学校の学童・生徒及びその関係者 周南市民	家庭、学校及び地域が連携して食育や健康づくりを推進することにより、小・中学生が生涯にわたって心豊かな生活を送ることが出来る。	①食や健康に対する関心度の向上 ②食や健康に関する正しい知識の普及 ③子どもの健康づくりを支援する環境整備	学校出前講座:25回実施 1229人 テーマ:「朝食」、「野菜」、「間食」等について 児童生徒や保護者が食育について学ぶ機会となった。	0.34	0.02	94	可	可
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成24年度で小中学生を対象とした食事調査・生活習慣調査は終了し、調査結果の説明の必要がなくなった。また、学校現場には栄養教諭や養護教諭等の食育の専門家がおり、健康増進課専門職との役割が重複している。					細事業評価					
	D	改善案	学校現場には、食育推進の役割をもった専門職がいるので、事業自体は平成26年度で廃止する。しかし食育を継続的に推進するために、学校現場の栄養教諭や養護教諭をはじめとした教職員と保健サイドの専門職との連携が必要である。								

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	⑥	健康教育活動  (経常的事務事業)					周南市民	生涯にわたって心豊かな生活を送るため、継続的な食育推進活動の一環として、市民・学校・幼稚園・保育所・企業等を対象に健康教育を実施する。	周南市食育推進計画における14指標項目の目標の達成を図る。	出前トーク40回・子ども料理教室4回・栄養バランス料理教室3回・食育プログラム22回等実施し、市民に食育について普及啓発を図った。	正職員	臨時等
							1.01	0.11	443	否	可	
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
細事業の課題	全市民に向けて食育推進事業を展開しているが、実施する講座や教室については参加者が固定しており、対象に広がりが見られないものがある。					B	改善案	第2次周南市食育推進計画に基づく指標項目達成に向けて、実践に結び付く事業を展開していく。対象者の幅を広げるためになるべく新規の参加者を優先する。特に子供世代から食育を推進していくために乳幼児の保護者へアプローチする。				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	平成20年3月に策定した周南市食育推進計画が5年を経過したことより、平成25年5月に市民を対象にアンケートを実施し、14の指標を評価した。平成26年3月に第2次周南市食育推進計画を策定。16の指標項目達成に向けて実践している。	第2次計画により、地域・保育所・学校・団体等と連携し、食育を推進すること。
	各細事業を見直し、周南市の食育推進に効果的な事業の取組がなされているか評価し、その都度事業の改善、廃止、あるいは新規事業を実施する必要がある。	事業全体の課題・問題点	地域、保育所、学校、企業、生産者、行政等が各々の役割を認識し、必要に応じて連携や支援をし、効果的な事業の取り組みをする必要がある。

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			食育基本法、周南市食育推進計画により実施している事業である。効果検証を行い、事業の改善や見直し、廃止を行ってきた。国の「健康日本21(第2次計画)」が示され、その実現に向けて、平成26年度より第2次周南市食育推進計画に基づき食育を推進している。	第2次周南市食育推進計画に基づき、地域・学校・団体等と連携し、食育を推進していく。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり、地域・学校・団体等と連携し、食育を推進すること。
----	---	------------------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500403
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(3)食育の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
食育推進を図るため、野菜メニューコンクール10周年記念レシピ集及び三色食品群教育用ポップを作成する。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	581014	事務事業名	虫歯予防事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行ないます。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
				【実施なし】	%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 早い時期からの「健康な歯」への関心及び正しい知識の習得により、適切な医療に繋がる。 (3歳児健診時のむし歯非罹患率 H26目標:80%)	事業の内容 (手段)	妊婦や乳幼児・学童が健康な歯を保ち、一生自分の歯で楽しく食べることができるために、歯科相談やむし歯予防教室を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	事業の実績				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	歯科健康教育 1,337人 フッ素洗口 1,672人 いい歯スマイル検診受診者 724人 親と子のよい歯のコンクール審査	直接事業費	千円	5,238		5,192	5,194	5,044	5,195			
	(予算額) うち一財	千円	5,238	5,192	5,194	5,044	5,195					
事業目標	目標名	3歳児健診むし歯非罹患率	計算式	むし歯のない者数/受診者数	単位	%	直接事業費	千円	4,530	4,411	対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財	千円	4,530	4,411		
	目標値	80.0	80.0	83.0	83.0	83.0	正職員人件費	千円	1,978	1,997		
	実績値	73.9	75.5	77.0			人工数	人	0.27	0.27	0.56	
	達成度(%)	92.4%	94.4%	92.8%			支出コスト	千円	決) 6,508	決見) 6,408		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否			
	①	フッ素洗口の実施 (ソフト事業)	市内の3歳以上の園児で希望する者(但し、公立保育園は4歳以上、公立幼稚園は学校教育課)	定期的なフッ化物の使用により、萌出したばかりの歯の質を強化し、むし歯予防に繋げる。	12歳児の一人平均う歯数(永久歯)健康日本21の目標値1.0本以下	週1回法でフッ化物洗口法を歯科医師会に委託して各園で実施。平成26年の12歳児の一人平均う歯数0.63本	正職員 0.09 臨時等 0	直接事業費 2,583	委託 可	臨時嘱託 否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						細事業評価					
	12歳児の一人平均う歯数(永久歯)は年々減少し、健康日本21の目標値を達成しており、3歳からのフッ素洗口の実施も含め、幼児期からのむし歯予防意識が向上している成果だと考える。						B	改善案	委託料について、歯科医師の管理実績、他市町の実施状況等を把握し、歯科医師会と調整していく。			
	②	母子保健に関する歯科事業 (ソフト事業)	乳幼児、児童、生徒	正しい知識の習得により健康意識を高め、歯科疾患の予防に繋げる。	歯科健康教育の参加者1,000人以上	歯科健康教育の参加者 1,337人	0.07	0	13	否	否	
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他						細事業評価						
乳幼児の保護者や小学校低学年に対し、むし歯予防の普及啓発について重点的に取り組む必要がある。学校現場においては、保健の専門職である養護教諭がおり、それぞれの役割を遂行するために連携を図りながら、むし歯予防に努める必要がある。						B	改善案	普及・啓発を充実させて、むし歯予防意識の向上を図る必要がある。				

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	いい歯スマイル検診事業 (ソフト事業)					19歳から39歳の周南市民	正しい知識の提供により健康意識の向上をはかり、歯科疾患の予防に繋げる。	いい歯スマイル検診の受診者1,000人以上	いい歯スマイル検診の受診者724人、いい歯スマイル講演会の開催1回	正職員	臨時等
							0.11	0	1,815	可	否	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 いい歯スマイル検診は、県内でも実施しているところが少ない若い世代の歯周疾患予防検診であるが、受診者数は横ばいである。				B	改善案	いい歯スマイル検診は周知方法など歯科医師会とも協議しながら、壮年期の歯周疾患予防につなぐため継続していく。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	歯の健康に関する意識啓発や若い世代の健診は重要であるが、実施方法を検討すること。	指摘事項に対する改善状況	事業ごとの効果と実績を検証し、実施方法について検討する。
課題・問題点	生涯にわたり、健康な歯で食することは大切であり、妊娠期から高齢者まで広く対象とし、予防活動を行っている。80歳で20年以上自分の歯を保つ「8020（ハチマルニイマル）運動」を推進している。平成20年度から40・50・60・70歳を対象に歯周疾患検診を開始する。平成22年度からは19歳から39歳を対象にいい歯スマイル検診を開始。				
	歯科健康教育の実績は上がっており、ニーズも高く、継続実施が必要である。フッ素洗口は、12歳児の歯本数が減少していることから、むし歯予防意識の向上に寄与していると考えられるが、歯科医師の管理状況やフッ素洗口を実施している他市町の状況等を基に、実施方法や委託料について歯科医師会と協議する必要がある。また、熊毛地区でのフッ洗口実施については、平成29年度（予定）に向け今後、検討が必要である。いい歯スマイル検診の実施については、受診者数を増すため、周知方法等について検討していく。	事業全体の課題・問題点	今後の歯科保健事業を推進していくうえで、中長期的な計画策定が必要である。熊毛地区のフッ素洗口の実施については、平成29年度（予定）実施に向け、教育委員会等との協議が必要である。乳幼児期や学童期、特に小学校低学年を対象に講話や実技指導による正しい知識の普及啓発を図るため、学校の養護教諭と連携し、歯科保健事業の推進に努める必要がある。いい歯スマイル検診事業については、周知方法等を検討する必要がある。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	生涯にわたる歯の健康づくり、歯科疾患の予防のために、歯の健康に関する意識啓発、フッ素洗口、歯科検診は重要であるが、実施方法の検討、歯科医師会との協議・連携が必要である。	改善案	歯科医師会と事業内容・方法等を検討する。熊毛地区のフッ素洗口の実施について、平成29年度（予定）からの実施向け、今後教育委員会、歯科医師会との協議が必要である。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり、関係機関と事業内容・方法を検討すること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き、乳幼児期からの歯科保健事業を推進する。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	581020	事務事業名	地域自殺対策緊急強化事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	健康づくり活動の推進			【健康づくり活動の推進】	37.80%
	推進施策の展開	健康づくり計画「のびのび はつらつ いきいき周南21」の推進のため、健康づくり推進協議会を母体として計画的に健康課題に取り組みます。市民の健康づくりの推進と、生活習慣病の予防、食育推進のため、教室開催や食生活改善の活動を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【健康づくり活動の推進】	44.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 啓発活動、相談支援体制の充実を図り、自殺者を減らす。 (研修参加者 H26目標:120人)	事業の内容 (手段)	一般市民を対象に人材育成研修(ゲートキーパー研修)、正しい知識の普及啓発活動(講演会の開催、健康教育)を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	①人材育成(ゲートキーパー研修 4回) ②睡眠キャンペーン3月に1日実施 ③出前トーク						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	2,010	1,328	1,036	706								800	
	(予算額)	うち一財	千円	0	0	0									
事業目標	目標名	ゲートキーパー研修受講者数	計算式	参加者数	単位	人	事業費	直接事業費	千円	1,961	1,156		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額)	うち一財	千円	0	0			
	目標値	20.0	20.0	120.0	120.0	120.0		正職員人件費	千円	3,370	2,219				
	実績値	20.0	18.0	79.0				人工数	人	0.46	0.30	0.56			
	達成度(%)	100.0%	90.0%	65.8%				支出コスト	千円	決) 5,331	決見) 3,375				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	ゲートキーパー養成研修 (ソフト事業)	周南市民	身近な市民がゲートキーパーの役割を理解する。	自殺危機にある人への初期介入対応を向上、自殺を未然に防ぐための相談体制の充実を図る。	国庫補助金を有効活用し、人材を育成。年4回実施。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託				
							0.1	0	287	否	可				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市町村自殺対策緊急強化事業として実施しているが、国の補助年限が切れることを想定し、今後の在り方を検討する必要がある。現段階では現行通りの人材養成方法で実施する。					B	改善案	より多くの人材を育成するために、一般市民も参加の可能な内容なものとし、広くゲートキーパーの役割を周知していく。						
②	心の健康講座 (ソフト事業)	周南市民	心の健康づくり、睡眠とうつとの関係、産後うつ等、自殺に対する正しい知識の啓発	広く市民に啓発を行い、市民が自殺対策の重要性に対する関心と理解を深めることができる。	国庫補助金を有効活用し、広く一般に啓発を行う。29回開催し、620人が受講。	0.09	0	481	可	可					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 平成10年以降、全国では3万人を超えていた自殺者数が平成24年以降減少して高止まりとなっている。市では年間40人前後で推移していたが、平成26年は、23人と減少しており、今後も、継続的な取り組みが必要である。					B	改善案	国庫補助事業のため、同様の啓発活動に努め市民への周知を行う。							

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	睡眠キャンペーン等 (ソフト事業)	周南市民、特に働き盛りの中高年男性及びその周囲の家族等	心の健康づくり、睡眠とうつとの関係、産後うつ等、自殺に対する正しい知識の啓発	うつの身体症状の一つである不眠を切り口に心の健康への支援を行う。	徳山駅にて街頭キャンペーンを実施。600人に啓発資料等を配布。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.11	0	388	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 街頭キャンペーンに合わせ、困りごと・睡眠相談医療機関パンフの配布、電光掲示板や市広報、図書館とのコラボ、のぼりの掲示等、様々な手法にて、多くの市民に理解を深めることができるように努める必要がある。					B	改善案	国庫補助事業のため、同様の啓発活動に努め市民への周知を行う。			
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成10年以降、全国では3万人を超えていた自殺者数が平成24年以降減少して高止まりとなっている。市では年間40人前後で推移していたが、平成26年は、23人と減少しており、今後も、継続的な取り組みが必要である。	前年度までの指摘事項	引き続き国補助を有効に活用し、啓発、人材育成に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	国庫補助金を利用した啓発等に努める。
	細事業の課題・問題点			事業全体の課題・問題点	平成10年以降、3万人を超えていた自殺者数が平成24・25年と2年連続で減少しているが、日本の自殺率は高く、依然として高止まりの状態である。本市では、年間40人前後で推移していたが、平成26年は、23人と減少した。今後も継続的な取り組みが必要である。また、母子保健事業と連動し、子育て世代の心の健康づくりとして、相談会の取り組みを実施していく。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	自殺防止の目的で、国庫補助を有効に活用し人材育成、啓発活動に努める必要がある。	改善案	国庫補助の動向を注視しながら、自殺対策事業内容を検討し継続していく。
----	---	--	------	---	-----	------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管評価のとおり、積極的な啓発活動に努めること。
----	---	--------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
自殺対策交付金の補助率変更に伴い、事業内容の見直しを行った。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者(課長)	磯崎 恵理子	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	582008	事務事業名	母子健康診査事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民(妊婦、乳幼児)	意図(どういう状態にしたい): 健康診査の受診により、妊娠経過や成長発達の確認、疾病等の早期発見・早期治療につながり、妊婦・乳幼児の健康の保持・増進が図られる。(健診の受診率 H26目標:100%)	事業の内容(手段)	妊婦や乳幼児に対し、疾病等の早期発見や健康の保持・増進を図るために妊婦健康診査、乳幼児健康診査を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	妊産期:妊婦健康診査受診者(14回)14,355人、妊婦子宮がん検診受診者1,126人、乳幼児期:1か月児1,107人・3か月児1,090人・7か月児1,065人・1歳6か月児1,138人、3歳児健康診査1,166人 乳幼児健康診査未受診者の受診勧奨を実施。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	【26年度】	直接事業費	千円	177,067	177,361	168,576		166,655	169,000							
事業目標	目標名	妊婦健診受診率	計算式	1回目妊婦健診受診者数/対象者	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	177,067	177,361	168,576	166,655	169,000		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	157,148	161,078			対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	157,148	161,078			実績を踏まえ、妊婦・乳幼児健康診査受診者補助金を減額したため。		
	実績値	98.8	98.7	98.9			正職員人件費	千円	13,112	13,903		1.89				
	達成度(%)	98.8%	98.7%	98.9%			人工数	人	1.79	1.88		1.89				
							支出コスト	千円	決) 170,260	決見) 174,981						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員		臨時等		直接事業費	
	①	妊婦健康診査の実施	周南市の妊婦		妊婦及び胎児の健康管理及び保健指導に役立てる。		健診受診率 100%		妊産届出時、妊婦1人あたり14回分(子宮頸がん検診1回)補助券を発行。 平成26年度対象者1,145人 早期届出により妊娠中の医療管理が徹底される。		0.23	0.31	126,042		可	可
		(経常的事務事業)														
		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 ■ コスト □ その他														
	細事業の課題	山口県の妊婦健診委託料単価は、全国でも高く、県内市町と連携して単価交渉を行う必要があると評価を受け、各関係方面への協議を必要とされていた。						A	改善案	法に基づき実施する事業であり、安心して産み育てるために必要な事業である。健診委託料単価は、事業開始時に県内他市町との単価調整を行った結果であり、今後も各市町動向を確認しながら関係方面との単価調整を引き続き行っていきたい。						
②	乳幼児健康診査(1・3・7か月児)の実施	乳児		乳児期の疾病の早期発見、早期治療及び適切な援助等を行うことで乳児の健康の保持増進を図る。		健診受診率 100%		健診結果の情報管理と結果に応じた支援及び未受診者への受診勧奨を実施し、ほぼ目標を達成している。98.6%		0.14	0.1	18,493		可	可	
	(経常的事務事業)															
	細事業の課題	□ 妥当性 ■ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他		引き続き、受診率を高める必要がある。				A	改善案	引き続き、受診率向上に努める。要精検者に対しては、受診を勧奨し、状況把握に努める。						



事業の分類	細事業名	事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時
③	1歳6か月児健康診査の実施 (経常的事務事業)	1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児	身体発育、精神発達の確認、有所見者への支援。生活習慣の自立、虫歯予防、栄養等の指導。	健診受診率 100%	健診結果の管理と必要に応じた支援及び未受診者への受診勧奨を実施している。受診率は、97.7%でほぼ目標を達成している。	0.28	0.04	6,678	可	可
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 未受診者に対しては、はがきや電話等により、受診勧奨しているが、未受診者の状況を把握して、さらに受診率を高めるために受診勧奨をする必要がある。				細事業評価					
	A	改善案	引き続き、受診率向上に努める。要精検者に対しては、受診を勧奨する。							
④	1歳6か月児健康診査の実施(歯科) (経常的事務事業)	1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児	歯の疾病、口腔内の異常の有無の確認、有所見者への支援や指導を行う。	健診受診率 100%	健診結果の管理と必要に応じた支援及び未受診者への受診勧奨を実施している。受診率は、90.6%のため受診率向上に努める。	0.06	0.02	3,018	可	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 未受診者に対しては、はがきや電話等により、受診勧奨しているが、受診率を高めるために、受診者の状況に応じた方法で受診勧奨を行う必要がある。				細事業評価					
	A	改善案	引き続き、受診率向上に努める。							
⑤	3歳健康診査の実施 (経常的事務事業)	満3歳を超え満4歳に達しない幼児	身体発育、精神発達面、視覚・聴覚障害の早期発見、及び幼児の健康の保持増進を図る。	健診受診率 100%	集団健診の実施(問診・計測・小児科、歯科医による診察・保健指導)を行い、結果に応じた支援及び未受診者に受診勧奨している。受診率は、98.0%でほぼ目標を達成している。	1.08	0.7	5,395	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 未受診者に対しては、はがきや電話等により、受診勧奨しているが、未受診者の状況を把握して、さらに受診率を高めるために受診勧奨をする必要がある。				細事業評価					
	A	改善案	引き続き、受診率向上に努める。要精検者に対しては、受診を勧奨する。							
⑥	3歳健康診査の実施(歯科) (経常的事務事業)	満3歳を超え満4歳に達しない幼児	歯の疾病、口腔内の異常の有無の確認、有所見者への支援や指導を行う。	健診受診率 100%	集団方式で、歯科医による診察・保健指導を行い、結果に応じた支援及び未受診者に受診勧奨している。受診率は、98.0%でほぼ目標を達成している。	0.09	0.15	1,452	否	否
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 未受診者に対しては、はがきや電話等により、受診勧奨しているが、受診率を高めるために、受診者の状況に応じた方法で受診勧奨を行う必要がある。				細事業評価					
	A	改善案	引き続き、受診率向上に努める。							

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	母子保健法により実施している。平成21年度より、視覚・聴覚障害の発見精度を高めるため、3歳から3歳6か月時点での健診に変更した。	前年度までの指摘事項	山口県の妊婦健診委託料単価は全国で最も高く、県内市町と連携して単価交渉を行う必要がある。健診単価については、他市町及び関係機関と検討・協議をおこなうこと。	指摘事項に対する改善状況	健診委託料単価は、事業開始時に県内他市町との単価調整を行った結果であり、今後も各市町の動向を確認しながら関係方面との単価調整を引き続き行っていきたい。
	細事業の課題・問題点	山口県の妊婦健康診査委託料単価は、全国に比して高いが、単市での変更は難しいため県内市町と協議が必要である。1歳6か月児健診、3歳児健診の受診率向上のために、かかりつけ医や保育所、幼稚園との更なる連携が必要である。	事業全体の課題・問題点	山口県の妊婦健康診査委託料単価は、全国に比して高いが、単市での変更は難しいため県内市町と協議が必要である。1歳6か月児健診、3歳児健診の受診率向上のために、かかりつけ医や保育所、幼稚園などの更なる連携が必要である。受診率は、ほぼ目標に達しているが、未受診者の状況を把握し、受診勧奨をする必要がある。		

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	法に基づいた事業であり、すべての児が健やかに生まれ、育つための基盤として位置づけられている。住民全体の健康の維持向上と将来にわたる健康な社会生活の基盤として今後とも必要、かつ重要な事業であり、高い実績を上げている。健診単価については、他市町と検討・協議が必要である。	改善案	法で定められている事業であり、受診率向上を図るとともに、単価については、引き続き他市町との検討や関係機関と協議を行う。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A
所管評価のとおり、引き続き関係機関との協議を行うこと。	

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500402
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(2)母子保健指導等の充実

**【改善】 Action**

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
大津島に居住する妊婦及び乳幼児の保護者の経済的負担を軽減し、定期的な健康診査を可能とするため、離島妊婦健康診査等支援補助金を新設した。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者(課長)	磯崎 恵理子	評価責任者(部長)	中村 純子
事務事業コード	582011	事務事業名	母子保健指導事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行ないます。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
				【実施なし】 %		
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民(妊婦、乳幼児)	意図(どういう状態にしたい): 保健指導等を通して、妊娠、出産、育児に関する正しい知識の習得により、育児不安の解消ひいては虐待防止につながる。 (乳児家庭全戸訪問実施率 H26目標:100%)	事業の内容(手段)	思春期、妊娠婦、子育て中の親や家族に対し、育児支援などを図るため、家庭訪問・育児相談・育児学級を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	母子健康手帳の交付:1,145人 家庭訪問延件数:2,985件 育児相談:2,554人 健康教育(マタニティーセミナー、ハッピーセミナー等):1,158人 発達支援に関する事業(発達相談会:79人、発達支援学級:298人) 乳児家庭全戸訪問実施割合						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	10,465	11,483	11,780	11,459		11,780						
事業目標	目標名	計算式	訪問実施件数/訪問対象者数	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	9,013	10,164	10,087	9,703	11,780	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	直接事業費	千円	10,126	10,407	対27年度増減理由		対28年度増減理由
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0	(決算額) うち一財	千円	8,754	9,184			
	実績値	98.4	99.2	99.5				正職員人件費	千円	54,864	60,491			
	達成度(%)	98.4%	99.2%	99.5%				人工数	人	7.49	8.18	7.31		
								支出コスト	千円	決) 64,990	決見) 70,898			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		母子健康手帳の事務・交付 (経常的事務事業)	妊婦 転入妊婦・転入乳幼児	妊娠期から乳幼児期までの健康情報を管理し健康診査や保健指導等の母子保健サービスの周知を図る。	専門職による面接により、妊娠期からのハイリスクの把握に努め、継続した支援ができるよう地区担当保健師に繋ぐ。	妊娠の届出により、母子健康手帳を交付し、妊娠経過を管理し、出産に向けた支援を行っている。妊娠届の早期届出割合(妊娠11週以内):91.8%	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
	細事業の課題		■ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 早期の手帳交付が実施できている。母子健康手帳の交付事務は、専門職が実施しており、妊娠期からのハイリスクを把握し、必要な対応を実施する必要がある。											
	②		家庭訪問の実施 (経常的事務事業)	妊産婦・乳幼児	妊婦、産婦及び新生児等の健康の保持増進を図り、安心して子育てができるようにする。	出産後早期に全戸家庭訪問を実施し、産後うつ病予防及び虐待予防を図る。家庭訪問実施目標率:100%	出生後早い時期での全戸家庭訪問を目指して実施。産後のうつ予防、虐待予防の目的で質問票を利用し継続支援。家庭訪問実施割合:99.5%	2.89	1.25	1,741	否	可		
	細事業の課題		□ 妥当性 □ 有効性 □ 効率性 □ コスト □ その他 出生後、早い時期での全戸の訪問指導、要支援者への継続的な訪問指導を実施している。対象者の中には長期の里帰りや、訪問を希望しないものもあるが、様々な手段により全数把握する必要がある。											
						A		改善案	訪問時に、エジンバラ産後うつ質問票を活用し、産婦の育児不安やうつ病などを早期発見・早期対応することで、その後の適切な育児へと繋げている。訪問ができない場合は、関係機関等から情報収集し、全数把握する。					

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否		
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	育児相談の実施	乳幼児及びその保護者	保護者の育児不安が解消され、安心して育児することができる。	育児に関する相談に専門職が応じ、必要な指導及び助言を行い、母子保健に関する知識の普及に努める。	乳幼児の身体計測や保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師による相談及び保健指導を実施。育児不安の軽減や解消につながっている。	1.21	0.7	958	否	可	
		(経常的事務事業)										
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 効果的な実施のために、開催場所、実施回数、内容について、検討する。					細事業評価					
							B	改善案	ニーズや相談来所者の満足度を把握し情報を収集し、今後の実施について活かす。			
	④	健康教育(マタニティセミナー、ハッピーセミナー等)	妊産婦・乳幼児とその家族	妊産婦及びその家族が安心して妊娠・出産・育児に取り組むことができる。	妊娠中の健康管理や育児に関する知識を習得し、親になることを支援する。教室に参加することにより仲間づくりができる。	教室実施後のアンケートを基に企画運営及び事業評価を実施し、目標を達成している。	1.15	0.28	459	否	可	
		(経常的事務事業)										
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 母子保健の推進の一つとして、妊娠中からの健康管理と育児の知識の提供、仲間づくりなど、母子が安心して子育てできていることにつながっている。妊娠、出産、育児期において、子育てを行う家庭内の育児力の向上の支援と地域での仲間づくり、子育て情報の提供の場ではあるが、実施内容、回数等検討が必要である。					細事業評価					
							B	改善案	継続実施する。			
	⑤	発達支援に関する事業(発達相談会・発達支援学級の実施、他機関との会議など)	発達支援が必要な児とその保護者	発達支援が必要な児と保護者に対する支援により、児の発達を促し、保護者の不安軽減を図る。	発達支援が必要な児の保護者が、事業に参加することにより、不安の軽減に繋がる。児の発達を促す。	発達支援のための相談会や学級の企画運営及び事業評価を実施し、保護者の不安が軽減している。	1.46	0.25	1,600	否	可	
		(経常的事務事業)										
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 発達に係る個別指導が必要な対象者もあり、対象者に応じた適切な支援ができるよう関係機関との連携が必要である。支援が必要な対象者数に変動があるため、実績や対象者に応じた、開催や運営方法の見直しが必要である。					細事業評価					
							B	改善案	対象者に応じた、適切な支援ができるよう、実施内容や方法を適宜見直し開催する。また、関係機関と連携し、必要な事業やサービスに繋ぎ、情報共有に努める。			
⑥	母子保健推進協議会との調整	母子保健推進員・周南市民	地域に密着した母子保健活動を実施し、地域で安心して子育てができる地域づくりを推進する。	①地域に密着した子育て支援を行う。 ②地域活動に取り組めるように研修会など積極的に参加することにより、知識を習得し、資質の向上を図る。	研修会参加者:472人、家庭訪問:8,591人、援助活動:409人、子育てサークル活動:61回、5,554人 地域で安心して子育てが、できるよう	0.37	0	4,578	否	可		
	(経常的事務事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 母子保健推進員が、担当する対象者数や、推進員の経験年数について、地域差がある。					細事業評価						
						B	改善案	推進員の人材発掘や資質の向上のため継続的な支援が必要である。				
⑦	子育て支援情報誌	乳幼児のいる家庭	保護者の育児不安の軽減や孤立化を防止するための母子保健サービス等の情報提供を行う	全ての新生児及び転入乳幼児のいる家庭に配付する。	新生児の訪問指導及び転入時等に情報誌を全家庭(当課把握分)へ配付できた。	0.05	0	255	可	可		
	(経常的事務事業)											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 子育て支援の目的により、社会情勢や親のニーズに合わせた情報を提供する必要があり、タイムリーに情報を提供する必要があります。					細事業評価						
						C	改善案	平成27年度中に、子育て支援課で稼働予定の『子育て支援サイト』の内容を検討の上、今後の方向について決定				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	母子保健法により実施している。平成19年度より次世代育成支援対策推進法により、乳児家庭全戸訪問事業に取り組んでいる。平成22年度より、産後のうつ病の早期把握、虐待予防の目的で訪問時に、エジンバラ産後うつ病質問票を活用し、必要に応じて継続的支援を実施している。	前年度までの指摘事項	所管課評価のとおりであり、有効な事業であるので、効率的な事業実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	効率的、効果的な事業実施をしていく。
	細事業の課題・問題点	保健指導・訪問指導・講座の実施、子育て情報誌の提供により、育児不安を解消し、各種子育て支援サービスを提供しているが、さらに効率的、効果的な事業実施ができるよう検討が必要である。	事業全体の課題・問題点			育児不安等に対して早期支援・早期対応し、継続支援する必要がある。対象者のニーズ、実態、満足度を把握し事業の効果検証を行い実施する必要がある。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	法に基づいたものであり、育児不安が軽減し、子育て支援・発達支援において重要な役割を担う事業である。引き続き、重点的に進めていく必要がある。	改善案	地域で安心して、子どもを産み育てるための支援として、重要と考えており、事業内容、実施方法等について検討、精査し、効果的な実施に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント		
評価	B	所管評価のとおり、引き続き相談活動、訪問活動を充実し、効果的な実施に努めること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード*	500402
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(2)母子保健指導等の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
子育て情報誌による情報提供を見直し、子育て情報サイトアプリの活用を周知することでリアルタイムに情報提供する。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582012	事務事業名	母子保健ブックスタート事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。 市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。 健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。 生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 親子が絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひと時をもつことにより、情操教育及び子育て支援の一助となる。 (配本率 H26目標:100%)	事業の内容 (手段)	親子の心のふれあい、絆を深めてもらうための子育て支援として絵本を配布		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		配本対象者1,194人 配本者数1,131人 配本率94.7%				母子保健推進員配布件数 853人		事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
【26年度】		目標名		計算式	配本数/対象者	単位	%		直接事業費	千円	1,323	1,321	1,282	1,271	1,290
事業目標	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	事業費	(予算額) うち一財	千円	1,118	1,109	1,282	1,271	1,290	
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		直接事業費	千円	1,136	1,321		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	実績値	97.1	95.9	94.7				(決算額) うち一財	千円	931	1,109				
	達成度(%)	97.1%	95.9%	94.7%				正職員人件費	千円	1,026	1,183				
								人工数	人	0.14	0.16	0.11			
		細事業名		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
事業を構成する細事業【26年度実績】	①	母子保健ブックスタート事業 (ソフト事業)	乳児及びその保護者	親子が絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひと時をもつことにより、育児不安の軽減や子育て支援の一助となる。	配本率 100%	配本対象者数 1,194人 配本済み者 1,131人 うち母子保健推進員配本数853人 配本実施率 94.7%	0.16	0.12	1,321	否	否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 里帰り出産も多く長期にわたるため、配本時期にバラつきがあり、配本が次年度になる場合がある。				B	改善案	絵本の配本準備にかかる事務作業の簡素化や、母子保健推進員との連携によるスムーズな配本ができるよう引き続き実施する。							
	②														
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			④									
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題					改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成20年度から事業開始。保健師・助産師・母子保健推進員が生後4か月までに家庭を訪問し、手渡しで絵本を進呈している。事業の見直しにより、平成24年度より配布本を2冊から1冊に減らしており、予算削減や配本にかかる事務作業の簡素化を図っている。	前年度までの指摘事項	平成24年度より、配布本数の見直しがなされコストを下げても事業効果が下がらない見直しがなされている。今後も改善を図りながら事業実施されたい。	指摘事項に対する改善状況	今後も引き続き、コスト削減について検討し、改善を図る。
	細事業の課題・問題点	平成20年度よりスタートした事業であり、絵本を通して親子のふれあいや、子育て支援の一環として実施しており、ニーズは高い。コスト面では、配布数を1冊に削減している。	事業全体の課題・問題点	すでに配布数を1冊に削減しており、子育て支援に有効な事業であるため、コスト削減を検討しつつ継続する。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	出生を祝福し、絵本を通して、母と子の愛着を深める事業であり、絵本の読み聞かせにとどまらず、地域の身近な支援者である母子保健推進員等が、訪問し手渡すことにより、母と子の孤立化の防止に繋がり、母子への支援活動となっている。	改善案	配本する絵本の選定について、引き続きコストに削減を図る。
----	---	--	------	---	-----	------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管評価のとおり、事業評価を図りつつ、事務作業の簡素化、コスト削減を図ること。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500402
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(2)母子保健指導等の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
引き続き事務作業の簡素化、コスト削減を図る。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582059	事務事業名	不妊治療費助成事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民の経済的負担の軽減を図るとともに、子供を産み育てやすい環境づくりを推進する。	事業の内容(手段)	市内に住所を有する夫婦が医療保険各法の規定による不妊治療を受けている場合に、一部費用を助成 保険適用外の特定治療費の申請受付及び県への進達		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般不妊治療助成件数 189件</li> <li>特定不妊治療申請受付件数(県委託事業) 110件</li> <li>人工授精申請受付件数(県委託事業) 93件</li> </ul>						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)		
	直接事業費	千円	6,202	6,202	6,202	6,202		6,202								
事業目標	目標名	一般不妊治療助成件数	計算式	助成件数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	3,078	3,078	3,078	3,076	3,078			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,266	4,926		対27年度増減理由	対28年度増減理由			
	目標値	200.0	200.0	200.0	200.0	200.0	(決算額) うち一財	千円	2,142	2,430						
	実績値	159.0	157.0	189.0			正職員人件費	千円	3,882	3,919						
	達成度(%)	79.5%	78.5%	94.5%			人工数	人	0.53	0.53	0.27					
							支出コスト	千円	決) 8,148	決見) 8,845						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①		不妊治療費助成事業 (経常的事務事業)	不妊治療を受けている夫婦	不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、市民の経済的負担の軽減を図る。	不妊治療助成件数の増加。 ・不妊治療に関する相談 ・一般不妊治療費助成事業【補助金】 ・特定不妊治療費・人工授精費助成事業申請受付・進達業務【事務委託金】	正職員	0.53	臨時等	0.08	直接事業費	4,926	委託	否	臨時嘱託	否
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 助成の利用者が増えており、少子化対策の一環として、助成事業について一層の市民への周知を図る必要がある。				B	改善案	国の制度により対象や内容が変更されていくので随時市民への広報に努める。							
	②															
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案								



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	県内の不妊治療の実態等を踏まえ、子育て・少子化対策の一環として、平成16年度から開始された事業であり、平成23年度からは人工授精に対する助成が、平成27年度からは男性不妊治療費に対する助成が追加された。利用者が年々増加していることもあり、随時、制度の見直しが行われている。	前年度までの指摘事項	制度を有効に活用してもらうために、一層の市民への周知を図ること。	指摘事項に対する改善状況	国の制度の見直しを含め、分かりやすく利用しやすくなるように周知方法を検討する。
	細事業の課題・問題点	助成の利用者が増えており、少子化対策の一環として、助成事業について一層の市民への周知を図る必要がある。		事業全体の課題・問題点	助成事業について市民に周知していく必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	少子化対策の一環として開始された事業であり、制度を有効に活用してもらうためにも一層の市民への周知を図る。	改善案	市民への周知を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり、一層の市民への周知を図ること。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500402
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(2)母子保健指導等の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き市民への周知を図る。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 惠理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582065	事務事業名	未熟児養育医療費	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【 】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
対象(誰を・何を): 周南市民		意図(どういう状態にしたい): 市民の経済的負担の軽減を図り、安心して子供を育てられる環境づくりを推進する。		事業の内容 (手段)	養育のため病院又は診療所に入院することを必要とする未熟児に対して、その養育に必要な医療費を助成	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	【26年度】						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	未熟児養育医療費助成件数								直接事業費	千円	9,421	9,423	10,528	10,326
事業目標	目標名	未熟児養育医療費助成件数		計算式	助成件数	単位	人	(予算額) うち一財	千円	1,822	1,983	2,247	2,196	2,247
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	8,454	7,918		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	-	40.0	40.0	40.0	40.0		(決算額) うち一財	千円	3,223	1,110			
	実績値	-	38.0	42.0				正職員人件費	千円	879	961			
	達成度(%)		95.0%	105.0%				人工数	人	0.12	0.13	0.13		
								支出コスト	千円	決) 9,333	決見) 8,879			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	①		未熟児養育医療費 (経常的事務事業)	養育のため病院または診療所に入院することを必要とする未熟児	未熟児の養育に必要な医療の助成を行い、市民の経済的負担の軽減を図る。	未熟児養育医療助成事業【補助金】		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
			<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
	細事業の課題		事務の効率化を図る。			A	改善案							
	②													
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③											
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	県事業の窓口として、申請受理・審査を行っていたが、平成25年度から市町村事業として委譲された。	前年度までの指摘事項	医療給付を速やかに行う必要がある。	指摘事項に対する改善状況	事務の効率化を図る。
	細事業の課題・問題点	事務の効率化を図る。		事業全体の課題・問題点	事務の効率化を図る。	

所管課評価

評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	母子保健法に基づいた事業であり、医療を必要とする未熟児に対して、養育に必要な医療給付を生後速やかに行う必要がある。	改善案	事務の効率化を図る。
----	---	--	------	---	-----	------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	A	所管課評価のとおり。
----	---	------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500402
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(2)母子保健指導等の充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き事務の効率化に努める。

備考

備考
----

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582017	事務事業名	健康管理システム事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。 市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。 健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。 生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 市民の健康状況を把握し、保健指導活動等に有効活用することによって適切な指導ができる。	事業の内容 (手段)	コンピュータによって、市民の健康診査、予防接種などの情報を管理 健診の受診券発送、予防接種、各健診の未受診者抽出、健康相談や保健指導等に対するデータ活用		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	各事業の実施は、健康管理システムを活用し、効果的な保健サービスを実施。 ①健診対象者への受診券発行 ②健診結果入力によりデータ管理・活用 ③訪問・相談活動の記録共有・活用 ④健診結果ならびに保健活動等の国・県への事業報告					項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)				
						直接事業費	千円	4,421	14,020	9,951	10,448	9,951				
事業目標	目標名	健康管理システム活用回数	計算式	各事業活用件数集計	単位	回	(予算額)	うち一財	千円	4,421	14,020	9,951	10,448	9,951		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	4,316	12,119			対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	目標値	125,000.0	125,000.0	125,000.0	125,000.0	125,000.0	(決算額)	うち一財	千円	4,316	12,119					
	実績値	110,056.0	107,270.0	108,615.0			正職員人件費	千円	2,491	3,993						
	達成度(%)	88.0%	85.8%	86.9%			人工数	人	0.34	0.54	0.90					
							支出コスト	千円	決) 6,807	決見) 16,112						
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否				
	①	健康管理システム事業 (施設等整備事業)	周南市民	健診受診状況、予防接種状況、個別指導状況等をコンピュータ管理することで、保健指導に有効活用するとともに事務の効率化を図る。	過去から蓄積された市民の情報を維持しながら有効に活用する。	・健診・予防接種の記録管理 ・訪問、相談業務の記録管理 ・国、県への実績報告	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	0.1	0	5,045	可	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市の状況や目的に合わせ、独自開発したシステムのため、複雑化してきている業務や度重なる法改正に対応するために、頻繁にシステムの修正が必要になるが、システムの老朽化や保守人員の減少により、システムの維持管理が困難になってきている。					B	改善案	平成26年度に汎用的なパッケージシステムの導入したことで、法改正等の対応が安価に行えるようになった。							
	②	健康管理システム更新事業 (施設等整備事業)	周南市民	パッケージシステムに変更することにより法改正や統計業務に係るコストの削減と事務の効率化を図る。	健康管理システムの移行。	・パッケージシステムの導入 ・旧システムからのデータ移行	0.44	0	7,074	可	可					
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					A	改善案									

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	システムの再構築を検討すること。	指摘事項に対する改善状況	平成26年度においてシステムの再構築を行った。
細事業の課題・問題点	従来使用していたシステムは老朽化や保守人員の減少で、システムの維持管理が困難である。新システムの導入により、従来の業務の方法について見直す部分があると考えられるため、それについて早急に整理する必要がある。		事業全体の課題・問題点	従来使用していたシステムは老朽化や保守人員の減少で、システムの維持管理が困難である。新システムの導入により、従来の業務の方法について見直す部分があると考えられるため、それについて早急に整理する必要がある。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	市民の健康管理から、相談、教育事業への活用として幅広い効果が期待できる。蓄積した情報を有効に活用するためにもシステムの維持が必要である。	改善案	新たに導入したシステムを適正に管理し、業務の効率化を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 所管課評価のとおり

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
システムの効率的な運用と有効活用に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582027	事務事業名	生活習慣病健康診査事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	健康づくり活動の推進			【健康づくり活動の推進】	37.80%
	推進施策の展開	健康づくり計画「のびのびはつらついきいき周南21」の推進のため、健康づくり推進協議会を母体として計画的に健康課題に取り組みます。市民の健康づくりの推進と、生活習慣病の予防、食育推進のため、教室開催や食生活改善の活動を行います。			25年度市民評価の満足度	
		【健康づくり活動の推進】	44.70%			
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 生活習慣病予備軍を早期発見し、栄養・運動等の生活指導や適切な医療に結びつけることができる。 (要指導者指導実施率 H26目標:70%)	事業の内容 (手段)	生活習慣病健康診査、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診の実施、それに基づく事後の指導		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	① 生活習慣病健康診査(受診者数 37人, 受診率 2.5%, 保健指導対象者数 5名, 保健指導・状況把握実施者数5名) ② 肝炎ウイルス検診(受診者数 377人, 受診率 13.5%) ③ 歯周疾患検診(受診者数 43人, 受診率 0.5%)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	2,782	2,051	2,062	3,570		2,086						
事業目標	目標名	支援指導実施率	計算式	指導者数/支援指導対象者数	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	885	528	564	935	563
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	3,162	2,711		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	70.0	70.0	100.0	100.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	1,571	1,073		実績を踏まえ、肝炎ウイルス検診の委託料を増額したため。	
	実績値	100.0	100.0	100.0			正職員人件費	千円	3,370	4,067				
	達成度(%)	142.9%	142.9%	100.0%			人工数	人	0.46	0.55	0.30			
							支出コスト	千円	決) 6,532	決見) 6,778				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	生活習慣病健診の実施 (経常的事務事業)	40歳以上の医療保険未加入者	生活習慣病予備群を早期発見し、栄養・運動等の生活指導や適切な医療に結びつける。	受診後の保健指導実施率の向上	保健指導対象者の保健指導や状況把握を行い、生活改善や適切な医療へ結びつけることができた。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.11	0.02	353	可	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 保険者に義務化された特定健診を受ける機会のない人を対象に実施している。受診後の保健指導実施全員に実施できている。					B	改善案	対象者の多くが生活保護法による被保護世帯であることから、生活支援課との連携を強化しながら進めるとともに事業効果の検証を行う。					
	②	肝炎ウイルス検診の実施 (経常的事務事業)	40歳以上70歳以下でこれまで肝炎ウイルス検査を受けたことがない周南市民	肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等を受け、医療機関を受診を促す。	受診者の増加を図る。	受診者377人 (集団検診90人個別検診287人)	0.38	0.02	2,241	可	否			
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 節目検診の自己負担無料化については平成23年度から実施し、受診数増加の要因ともなっている。しかし、県でも特定感染症検査事業により、無料検診を実施しているため、県事業との整理が必要である。また県事業の受診者のデータ共有ができていない。					B	改善案	国から検診体制の強化策もあるため、受診機会について広く周知にとめているため、10/10補助の対象者のみ市検診で実施。						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③	歯周疾患検診 (経常的事務事業)	年度内40・50・60・70歳になる周南市民	歯周疾患の早期発見・早期治療	受診者の増加を図る。	受診者数43人	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
							0.06	0	117	可	否	
	細事業の課題	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 がん検診受診券に合わせて個人通知をしているが、国の示す年齢を対象としており受診者が少ない。				B	改善案	受診者を増やすために、周知・啓発の充実、歯科医師会との連携等について検討する。				
	④											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価				

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	健康増進法に基づき実施している。平成20年度から、40歳以上の医療保険未加入者に対し、生活習慣病予備群を早期発見し適切な生活習慣改善へ結びつけるため健康診査を実施している。		受診後の保健指導実施率は向上しているものの、受診率が低い。そのため、他課との連携を強化しながら進めるとともに事業効果の検証を行う。
	生活習慣病健診について、生活支援課と連携して、受診が必要な人に受診票を送付し効率的な実施に改善を図ったが、受診率は低い。受診後の保健指導実施率は向上している。肝炎ウイルス検診は特定健診と一体化した受診券に変更後受診者が増加しているが、歯周疾患検診の受診率は低い。	事業全体の課題・問題点	受診者を増やすために、周知・啓発に努める必要がある。生活支援課との連携、歯科医師会との連携等により効率的、効果的に実施する必要がある。

所管課評価

評価	理由	改善案
B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	受診後の保健指導実施率は向上しているものの、受診率が低い。他課との連携、歯科医師会との連携を強化しながら進める必要がある。 生活支援課と連携、歯科医師会との連携により、周知を図ることで、対象者へ効率的に実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり、関係機関と連携し実施すること。
----	---	---------------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500404
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(4)特定健康診査・がん検診の受診率向上

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
関係機関との連携により周知を図るとともに、効率的な実施を図る。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582028	事務事業名	がん検診事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): がん検診の受診により、早期発見・早期治療に結びつけ、がんによる死亡者を減少させる。 (がん検診受診者数 H26目標:33,500人)	事業の内容(手段)	集団及び個別検診による、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診を実施 子宮がん検診、乳がん検診については特定の年齢及び特定の未受診者に自己負担が無料となるクーポン券を送付		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	胃がん検診:2,716人 子宮がん検診:5,492人 乳がん検診:4,727人 大腸がん検診:6,149人 肺がん検診:6,948人 前立腺がん検診:2,926人					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	110,446	119,775	106,221		108,848	106,907						
事業目標	目標名	がん検診受診者数	計算式	がん検診受診者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	103,517	103,290	100,346	108,848	104,752
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	95,677	116,480			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	33,500.0	33,500.0	33,500.0	33,500.0	33,500.0	(決算額)	うち一財	千円	90,288	109,705			実績を踏まえ、がん検診委託料を増額したため。
	実績値	25,442.0	25,153.0	28,958.0			正職員人件費	千円	13,625	14,568				
	達成度(%)	75.9%	75.1%	86.4%			人工数	人	1.86	1.97	1.96			
							支出コスト	千円	決) 109,302	決見) 131,048				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	受診券の作成・送付 (経常的事務事業)	周南市の受診券発送対象者	検診内容を明らかにし、市民にわかりやすい受診券作成、対象者への正確な発送	市民にわかりやすく受診行動に結びつくように受診券を作成。発送までの事務を正確に行う。	受診券の見直しをし、わかりやすいものとした。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.62	0.34	2,970	可	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 新システムの導入によりチェック管理が見え易くなったが、受診券は、対象ごとに3種類あり、年齢性別対象ごとの検診項目、料金の印字内容の確認には時間を要す。					B	改善案	新システムへの移行により、受診券に係る事務の省力化と正確な業務を目指す必要がある。					
②	がん検診の実施(胃、子宮、乳がん、肺、大腸、前立腺) (経常的事務事業)	周南市民	がんの早期発見・早期治療につなげる。	がんの早期発見・早期治療の為、検診の受診率向上を目指す。	個別・集団での検診実施を行い、昨年度より受診者は微増している。	1.05	0.59	88,229	可	可				
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 受診率が低い。集団検診は委託で実施しているが、申し込み事務は市が行っているため事務量が多い。					B	改善案	がん検診の啓発普及の工夫や受診しやすい環境を整える。集団検診委託業者との事務手続きや検診当日業務の調整により事務改善する。						



事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト	委託等の可否	
	③	クーポン対象者の選定・作成・送付					周南市民(国の基準の該当者)	子宮がん・乳がん検診の受診率を上げ、子宮がん及び乳がんの早期発見・早期治療に結びつける。	クーポン利用受診率50%	クーポン券利用受診率 子宮頸がん検診:14.9% 乳がん検診:13.7%	正職員
			0.3	0	25,281	可					可
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 乳がん検診の受診率はやや向上しているが、国の目標値50%には及ばないため、啓発活動を積極的に行い、受診率向上を目指す。					細事業評価					
	B	改善案	クーポンの利用率は横ばいであり、費用対効果の面からの検証が必要。国が財政措置を継続しない場合は事業を廃止し、自己負担を徴収して実施としたい。								

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点	周南市健康増進法等健康診査実施要領に基づいて、検診を受ける機会のない住民を対象に、がんやその他の疾患の早期発見や早期治療に結び付けている。現状どおり実施する。  新システムの導入によりチェック管理が見え易くなったが、受診券は、対象ごとに3種類あり、年齢性別対象ごとの検診項目、料金の印字内容の確認には時間を要す。集団検診の申込み事務の事務量が多い。受診率が低い。	特定健診との連携により、集団検診に力を入れたことだが、実施にあたって職員の立会いなど人件費が必要になる。費用対効果を検証し、個別検診への一本化について検討が必要である。

所管課評価

評価	理由	改善案
B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	検診でがんが発見された場合の5年生存率が高い。このことからがん検診を受ける機会のない人に検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療に結び付けるため今後も事業の継続が必要である。  正確な受診券発送と、受診率向上のための周知方法の検討が必要。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり、個別検診と集団検診のコストを検証しながら、受診率の向上を図ること。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500404
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(4)特定健康診査・がん検診の受診率向上

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
クーポン券を廃止し、受診券での対応とすることで経費削減を図った。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582030	事務事業名	成人保健指導事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】 %	
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、肺、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): いつでも、どこでも、だれでも、気軽に取り組める事業を実施することで、幅広い年齢層が参加でき、健康づくりの意識向上が図られる。地域・企業・関係団体等と連携することで、健康づくりを支援する環境の強化が図られる。(チャレンジウォーキング参加者目標1,000人)(サンサンチャレンジ参加者目標 200人)	事業の内容(手段)	生活習慣病予防及び健康寿命を延ばすことを目的に、より多くの市民が健康づくりの意識を高め、自発的にかつ積極的に健康の保持・増進に取り組める事業を「しゅうなんスマートライフチャレンジ」と位置づけ、5つのチャレンジ事業を実施健康増進法に基づき、健康相談や訪問による保健指導を実施		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	集団健康教育実施回数152回、受講者数9,857人 健康相談回数 202回、健康相談実施延人数 1,124人 家庭訪問人数:延べ人数363人						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	3,644	3,857	3,086	3,139		3,100									
事業目標	目標名	集団健康教育受講者数	計算式	集団健康教育受講者数	単位	人	(予算額)	うち一財	千円	2,543	2,747	1,983	2,036	1,983			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	2,676	3,567		対27年度増減理由	対28年度増減理由				
	目標値	12,000.0	12,000.0	12,000.0	12,000.0	12,000.0	(決算額)	うち一財	千円	1,657	2,630						
	実績値	10,668.0	12,209.0	9,857.0			正職員人件費	千円	18,020	20,040							
	達成度(%)	88.9%	101.7%	82.1%			人工数	人	2.46	2.71	3.21						
							支出コスト	千円	決) 20,696	決見) 23,607							
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
	事業の分類										正職員		臨時等		直接事業費		
	①	保健事業の概要作成 (経常的事務事業)	保健事業関係機関		保健事業の基礎資料及び事業評価資料とすると同時に他機関に当該事業を周知する。		配付数:200冊		昨年度の事業内容・実績をまとめた冊子の作成・配付 目標達成度:64.5%(作成200冊、配布129冊)		0.17		0.06		702		
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 人口動態や保健事業実績の分析は、効果的な保健事業を実施するために重要である。目的に合わせて、配布数・配布先の検討が必要。						B		改善案		配付計画の見直しとそれに基づく冊子作成					
②	健康教育の実施(スマートライフチャレンジなど) (経常的事務事業)	周南市民		疾病予防及び健康を増進し、健康寿命の延伸を図るため、対象の特性に応じた健康教育を行う。		チャレンジウォーキング参加者目標1,000人、サンサンチャレンジ参加者目標200人		チャレンジウォーキング参加者679人、サンサンチャレンジ参加者159人		1.39		0		545		否 可	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 健康教育実施者数を増やすため、働き盛りの年代等に広く周知していく方法を検討し、実施してきた。さらに事業所等に働きかけ、受講者を増やし、健康づくりの意識を高める必要がある。						B		改善案		PR方法の検討						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	③	健康づくり相談会等の実施 (経常的事務事業)	おおむね40歳以上74歳以下の周南市民	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導を行い、家庭における健康管理に資する。	市民ひとり一人に合った健康づくりを実施・継続できるよう支援する。 目標 3,000人	H25健康相談実施者数1,124人 達成率37.5%		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③	健康づくり相談会等の実施 (経常的事務事業)	おおむね40歳以上74歳以下の周南市民	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導を行い、家庭における健康管理に資する。	市民ひとり一人に合った健康づくりを実施・継続できるよう支援する。 目標 3,000人	H25健康相談実施者数1,124人 達成率37.5%		0.62	0.08	998	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市広報、ホームページ等で周知しているが実施数が少ない。生活習慣改善が必要な人への周知、参加しやすい実施方法を検討する必要がある。				細事業評価							
						B	改善案	健診受診後にタイムリーに必要な指導が受けられるような相談体制の構築					
	④	家庭訪問の実施 (経常的事務事業)	検診結果による要指導者など	保健師等が訪問し、健康に対する問題を総合的に把握し、指導を行い、健康保持増進を図る。	訪問指導を実施することで、対象者の生活習慣の改善や治療に結びつける。 目標 500人	家庭訪問延べ人数363人 達成率72.6%		0.53	0.11	1,322	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 国保の特定健診結果データを利用しているため、健診受診からタイムリーな訪問指導が実施しにくい現状がある。				細事業評価							
						B	改善案	タイムリーで効果的な訪問指導の実施					

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	国の健康21(第2次)計画に沿い、健康寿命の延伸に向け、スマートライフチャレンジ事業を実施している。		引続き実施する。
	保健事業の基礎資料及び、事業評価資料の作成を通して見えてきた現状や課題を健康教育等の場でより多くの市民へ周知していく。これまで、健康教育に参加する機会が少なかった働き盛りの年代層への周知・啓発を検討し、実施者数を増やす必要がある。また、個別指導として健康づくり相談会や家庭訪問を強化していく必要がある。		引続き実施する。
		事業全体の課題・問題点	引続き実施する。

所管課評価

評価	理由	改善案
B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	保健事業の概要の活用 働き盛り年代への健康寿命をのばす取組みの実施(スマートライフチャレンジの拡大)

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	所管課評価のとおり
----	---	-----------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
引き続き、働き世代への健康寿命を延ばす取組みの拡大に努める。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	582044	事務事業名	保健センター管理運営事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	Ⅲ 福祉・保健・医療	節(まちの姿)	Ⅲ3 健康に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	Ⅲ31 健康づくりの推進	基本方向	心身ともに健やかな生活を支えるために、健康づくり計画に基づき、生涯現役のまちづくりを推進するとともに、豊かな人間性を育む「食育」を推進します。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	保健指導等の充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	妊婦、乳幼児期の疾病の早期発見、早期治療のための健康診査を行い、妊婦、乳幼児の健康管理を行います。 市民の健康づくり、生活習慣病の予防・早期発見・早期治療、健康増進を図るため、健康に関する講座を開催します。 健康増進法、がん対策基本法に基づき、がんの2次予防としての早期発見・早期治療のために胃、子宮、乳、大腸、前立腺がん検診を行い、それに基づく事後指導を行いません。 生活習慣病である糖尿病・心疾患・脳血管疾患・歯周疾患などの病気の予防、早期発見のために、健康診査を行います。			25年度市民評価の満足度	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民	意図(どういう状態にしたい): 健康相談、健康教育、健康診査等の市民の健康管理サービスを提供する場として、快適に利用することができる。 (年間利用者数 H26目標:20,000人)	事業の内容(手段)	母子保健、生活習慣病予防、健康づくり等に関する総合的な保健サービスを提供するための核となる施設としての整備及び管理運営		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	徳山保健センター・新南陽保健センターにおいて、市民を対象とする健康相談、保健指導、健康診査、健康教室を開催。 徳山保健センターについては、健診ホールを利用しないときは多目的ホールとして一般市民等にも使用を許可した。 健康教育室内に相談室を設置した。					事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)			
	直接事業費	千円	19,236	18,053	17,984		20,214	19,845								
事業目標	目標名	年間利用者数(健康増進課行事分)	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	(予算額) うち一財	千円	17,934	16,724	16,100	16,774	17,766			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	18,394	17,806	対27年度増減理由		対28年度増減理由			
	目標値	20,000.0	20,000.0	20,000.0	20,000.0	20,000.0	(決算額) うち一財	千円	17,735	17,068	徳山保健センター3階部分が移管されたことに伴い、管理委託料が必要となったため。		消費税増税(8⇒10%)			
	実績値	18,654.0	19,580.0	19,551.0			正職員人件費	千円	5,421	6,582						
	達成度(%)	93.3%	97.9%	97.8%			人工数	人	0.74	0.89	0.51					
							支出コスト	千円	決) 23,815	決見) 24,388						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否					
	①	保健センター管理運営事業	周南市民	地域住民の健康の保持及び増進を図るため、住民に対し健康相談、保健指導、健康診査、健康教育、自主的な保健活動の場を提供する。	年間利用者数の増により、有効に施設利用を図る。	・施設の整備、管理運営(空調関係の修繕・維持)	正職員	0.89	臨時等	0.47	直接事業費	17,806	委託	否	臨時嘱託	可
		(施設等管理運営事業)														
	②	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 徳山保健センター、新南陽保健センターともに、施設の老朽化により、修繕費が増加傾向にある。大規模な修繕は差控えているが、特に新南陽保健センターの空調設備はいつまで稼働できるか不安要素がある。 広大な市域の中で、近距離に同様の施設が存在するが、同じように維持管理していくことは今後難しくなる。					B	改善案	保健センターとしての核施設は一本化し、集中的に維持することと、廃止した施設の代替施設を確保し、地域の活動や事業を確保することを検討する。							
	③															
④	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否		
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
			④										
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	新南陽保健センターの業務は平成21・22年度は正職員の当番制。平成23年度より嘱託職員1名での対応。 徳山保健センターに重点を置いた形で事業を行なっている。	前年度までの指摘事項	新南陽保健センターは空調機の大規模修繕等見込まれている。(仮称)学び・交流プラザでの検診等実施も可能であることから、廃止に向けて検討を進められたい。	指摘事項に対する改善状況	新南陽保健センターでの実施事業の見直しを行い、今後の使用方法について検討していく。必要に応じて利用団体との協議も行う。
	細事業の課題・問題点	徳山保健センター、新南陽保健センターともに、施設の老朽化により、修繕費が増加傾向にある。大規模な修理は差控えているが、特に新南陽保健センターの空調設備はいつまで稼働できるか不安要素がある。 広大な市域の中で、近距離に同様の施設が存在するが、同じように維持管理していくことは今後難しくなる。 28年1月より、徳山保健センターにおいて、3階の管理が業務として増え、検診ホールを含めての委託の方向だが、当面は相当に煩雑となることが予想される。 健診ホールの机と椅子、及び出入り口の自動ドアが老朽化しているので更新が必要。	事業全体の課題・問題点	徳山保健センター、新南陽保健センターともに、施設の老朽化により、修繕費が増加傾向にある。大規模な修理は差控えているが、特に新南陽保健センターの空調設備はいつまで稼働できるか不安要素がある。 広大な市域の中で、近距離に同様の施設が存在するが、同じように維持管理していくことは今後難しくなる。 28年1月より、徳山保健センターにおいて、3階の管理が業務として増え、検診ホールを含めての委託の方向だが、当面は相当に煩雑となることが予想される。 健診ホールの机と椅子、及び出入り口の自動ドアが老朽化しているので更新が必要。		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	保健事業を進めていくうえで重要な施設であるが、常にコスト意識をもって維持管理を進める。	改善案	継続してコストの削減に努める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B
所管課評価のとおり、コスト意識をもって維持管理を進めること。	

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	500401
分野	5福祉・健康・医療
基本施策	4健康づくりの推進
推進施策	(1)健康寿命を延ばす健康づくり事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
施設の適正利用が図れるよう維持管理に取り組むとともに、引き続きコストの削減に努める。	

備考	

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	健康医療部・健康増進課	評価者 (課長)	磯崎 恵理子	評価責任者 (部長)	中村 純子
事務事業コード	592014	事務事業名	AED設置事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	IV 安心安全	節(まちの姿)	IV1 安心安全に暮らせる	実施計画	×
	基本施策	IV14 消防・救急体制の充実	基本方向	市民の生命や財産を災害から守り、だれもが安心して暮らせるように、消防・救急体制の充実強化を図ります。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	救急救助体制の充実			【実施なし】	%
	推進施策の展開	なし			25年度市民評価の満足度	
					【実施なし】	%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民		意図(どういう状態にしたい): 市民が突然のアクシデントで心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った時に一命を取り留める可能性が高くなる。		事業の内容 (手段)	不特定多数の市民が利用する公共施設に設置した「自動体外式除細動器(AED)」「電気ショックで心肺蘇生を図る医療機器」の維持管理

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績		使用期限がある電極パッドを購入交換するなど、適切な使用ができるよう維持管理に努めた。 平成22年度から「しゅうなんマップ」(現在ヤフーマップ)にて民間施設の設置状況を公開。廃止施設に設置していたAEDの配置換え(駅ビル⇒陸上競技場)を行った。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
【26年度】									直接事業費	千円	2,275	2,173	1,817	1,897	2,452	
									(予算額) うち一財	千円	2,275	2,173	1,817	1,897	2,452	
事業目標	目標名	設置施設数	計算式	設置施設数	単位	台	直接事業費		千円	2,037	1,981		対27年度増減理由	対28年度増減理由		
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	(決算額) うち一財		千円	2,037	1,981			再契約8台		
	目標値	36.0	46.0	48.0	48.0	48.0	正職員人件費		千円	1,245	1,257					
	実績値	36.0	46.0	48.0			人工数	人	0.17	0.17	0.16					
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%			支出コスト	千円	決) 3,282	決見) 3,238						
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
	事業の分類										正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
	①	AED設置事業 (施設等整備事業)	周南市民		市民が突然のアクシデントで心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った時に救命活動をおこなえるようにする。		公共施設に設置したAEDを適切な使用ができるように維持管理する。		5年間の賃貸借期限を終了した9台を新たに更新、2台新規設置した。		0.17	0	1,981	否	可	
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 本来の目的である公共施設には、ほぼ行きわたっているが、公共施設の少ない地域における設置をどうするかが課題。						B	改善案	公共施設以外への設置や管理者のいない施設への設置は維持管理が難しく、他部署との連携を考える必要がある。						
	②															
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他										細事業評価					
								改善案								

